

■After 建築名称 下段: 英語名	ピレリ超高層ビル Grattacielo Pirelli			
建築用途	大分類 事務所	小分類 オフィス、州庁舎		
改修設計者	Bob Noorda URL			
所在地	Milano, Italy Google Map			
改修年	2005年			
建築規模	延べ面積: 25,000㎡ (タワー部分) + 11,000㎡ (低層部 + 音楽ホール)、地上31階、高さ127m			
掲載書誌	Casabella 733号(2005年)			
賞・選定				
■Before 建築名称	ピレリ超高層ビル			概要 before 1960年に、建築家ジオ・ポンティと構造家P.L.ネルヴィの設計でピレリ社本社ビルとして建設された。1978年にロンバルディア州が購入し、以降は州庁舎として機能している。
建築用途	大分類 事務所	小分類 オフィス、州庁舎		
■写真 Before	After 最上階の展望台の工事風景。ネルヴィによる構造躯体が見える。		After ガラス手すりの納まりが美しい階段 (オリジナル)	
				
撮影者提供者	撮影者提供者 柳沢伸也 (2005年)		撮影者提供者 柳沢伸也 (2005年)	
■リノベーション内容	キーワード 大規模改修、外観保存、補強	内容 1960年に、ゴムタイヤメーカーのピレリ本社ビルとして建てられたミラノ初の超高層ビル。設計は、建築家ジオ・ポンティと、構造家ピエール・ルイジ・ネルヴィによる。高さは127m、地上31階建て。それまでミラノでは、大聖堂の頂部に設置したマリア像よりも高い建物は建設しないということが不文律だったために、当時、建設には物議を醸した。結局、超高層ビルの頂上に、レプリカのマリア像を設置することで解決した。改修後も、マリア像は設置されている。 2002年にセスナ機が追突し火災が発生するという大惨事が発生し、直ちにビルは閉鎖され、リノベーションが行われた。事故の起きたフロアの内外装だけでなく、外部サッシすべてを取り外し研磨された。また、躯体の梁に鋼製の張弦梁が追加されるなど耐震補強が行われた。内装については、建築家ジオ・ポンティの設計思想が尊重され、ほぼ建設当時の姿に戻された。近現代建築のリノベーション設計手法の一つの模範事例である。		
■備考	音楽ホールの座席については、色は同じ生地を踏襲しつつ、機能は最新の設備に置き換えられた。			
■作成者 氏名/所属	柳沢伸也 / JIA再生部会		作成協力	